

Q&A

第 12 回国連犯罪防止・刑事司法会議とは何ですか。

第 12 回国連犯罪防止・刑事司法会議はブラジルを開催国として、2010 年 4 月 12 日から 19 日にかけて、サルバドールで行われます。1955 年から 5 年ごとに世界各地で開催されている国連犯罪防止会議は、幅広い問題に取り組んでいます。また、犯罪防止と刑事司法の分野に大きなインパクトを与え、各国の政策や実務にも影響を及ぼしてきました。会議は各国とこの分野に携わる専門家が情報やベストプラクティスを交換できるグローバル・フォーラムの役割を果たします。その全体的目標は、全世界で犯罪防止政策と刑事司法施策の効果をもさらに高めることにあります。

今年の会議のテーマは何ですか。

第 12 回会議のテーマは国連総会の決定により、「グローバルな課題に向けた包括的戦略：変化する世界における犯罪防止・刑事司法制度とその発展」となっています。

第 12 回会議は、3 つの主要な方針に沿い、下記を通じて突っ込んだ議論と提案を促すまたとない機会となります。

- 法の支配体系の大黒柱として、刑事司法制度をしっかりと確立すること
- 刑事司法制度が開発に果たすきわめて重要な役割を重視すること
- 刑事司法制度の犯罪対策能力を高めるため、刑事司法制度改革における大局的アプローチの必要性を強調すること
- 世界各地の社会にとって脅威となる新たな犯罪形態を突き止め、その防止と取締りの方途を探ること

会議では何が議論されますか。

議題に上っている具体的な検討項目は、青少年と犯罪、テロ、犯罪防止、移住者の密航と人身取引、マネー・ローンダリング、ネット犯罪、犯罪対策における国際協力、移住者とその家族に対する暴力の 8 つです。また、会議では、法の支配に向けた国際刑事司法教育、刑事司法制度での受刑者処遇における国連その他のベストプラクティス調査、実践的な都市犯罪防止アプローチ、薬物密売とその他形態の組織犯罪との結びつき：国際的な協調対応、矯正施設における過剰収容に対する戦略とベストプラクティスに関する 5 つのワークショップも開かれます。会期末の 2 日間にわたって開催予定のハイレベル協議では、各国の首脳や閣僚をはじめとする政府高官が、会議の主要議題に取り組みます。会議と並行して、非政府組織（NGO）も犯罪防止、刑事司法、法の支配の問題に関する会合を多数開催します。

誰が参加しますか。

犯罪防止会議には、犯罪防止と刑事司法に携わる政策立案者や実務者のほか、学識者、さらには政府間機関、非政府組織（NGO）、専門機関その他の国連期間やメディアの代表者など、きわめて多様な関係者が最も多く参加します。

会議ではどのような成果が期待されますか。

会議では政治宣言が採択されますが、これにはハイレベル協議やワークショップを含め、会議のさまざまな話し合いの場での議論に基づく提言が含まれる予定です。政治宣言は2010年5月17日から21日にかけて開かれる第19回国連犯罪防止・刑事司法委員会に提出し、適切な検討と対応を仰ぐことになっています。

会議はまた、政府と政府間機関、NGOが犯罪防止と刑事司法全体の問題に関する協力を強化し、この分野での国際的行動の効果を高める場にもなります。

会議までにどのようなことが行われますか。

会議で議論すべき問題に地域的な観点を取り込むため、国連薬物犯罪事務所（UNODC）は2009年、コスタリカのサンホセ、カタールのドーハ、タイのバンコク、ケニアのナイロビで一連の地域準備会合を開催しました。参加者がそれぞれ特別の懸案事項を出し合い、「学んだ教訓」を共有するというのが、その趣旨でした。地域準備会合で参加者は、特殊な問題や懸案事項を提示するとともに、これらへの取り組みにおける成功例や今後有望なアプローチも紹介しました。

ブラジルのサルバドールまで行けない場合、会議の様子はどのようにフォローできますか。

ウェブサイトを立て上げ、オンデマンドで会議の様子を英語と原語（議場で使われている言語）で生中継するほか、声明（演説）をテキストで掲示します。ウェブサイトのURLは<http://www.un.org/webcast/crime2010>です。

さらに詳しくは、下記をご覧ください。

www.unis.unvienna.org

www.unodc.org

www.crimecongress2010.com.br

ライブ・ウェブキャストは下記をご覧ください。

www.un.org/webcast/crime2010